

Voice Vol.1

代表合宿始動!

18、19日にクーバー・ワットボールパーク八王子富士森公園にて日本代表の合宿が開催されました。アジア選手権(2012 ロンドンパラリンピック予選)に向けて強化合宿と言う事で開催された今回の合宿。練習前には関係者全て集まりミーティングを行いアジア選手権に向けてチーム・スタップ一丸となり戦う事を確認。練習は主に戦術練習に重点を置き監督からも激しいゲキが飛んでいました。18日は雨、19日は晴天で2日間で全く異なる天候の中の練習で選手からは『いい環境で試合ができるとは限らないので雨で出来たのは違った意味でいいシミュレーションが出来た』と話していました。2日間の合宿の中で一緒に生活する上で自然と話はサッカーの話題になっており、アジア選手権としてロンドンに向けてチームは毎月1回ずつの代表合宿を行い、アジア選手権に向けて強化をしていく。



Voice独占インタビュー!! ~ブラサカの世界一偉い人に聞きました~

Q. 初めてブラサカと出会ったのはいつですか?
1998年。その年が視覚障がいの方やその人たちのサッカーと会ったのも初めてだった。

Q. その時どんなことに驚きを感じましたか?
視覚障がいの方が、こんな可能性を秘めていること非常に驚いた。歩くことさえ困難な人が、サッカーするなんて信じられなかった。ただ、そこから視覚障がいの方が、自分達と同じような人間で同じ立場なんだと理解できた。

Q. ブラサカの魅力とはなんですか?
プレーしている人が、楽しくできること。さらに一般の方が、興味を持ってみてくれる。そこからまた理解が深まるんだ。

Q. 今までに一番感動した場面はどんなシーンですか?
挙げ始めたらキリがないけれど...二つある。
2002年 リオデジャネイロで行われた世界選手権
スペイン VS ブラジル戦 スペインが4-0で勝った時
(ちなみに、スペインは欧州チャンピオン対するブラジルは前回大会優勝者)
と、
2004年 アテネパラリンピック
ブラインドサッカーが初めて正式種目となった大会での開会式の
入場シーン
(出場国は、ブラジル、スペイン、フランス、アルゼンチン、韓国、ギリシャの6チームでした。)

Q. 好きな言葉はなんですか
Solidarity(スペイン語)
日本語に訳すと連帯責任、団結、互いを理解するという意味。
Q. 東北へむけて何かメッセージはありますか。
とても悲惨な状況なので、なんと言葉をかけたらいいのかわからない。しかし、世界中が日本の復興を応援しているし、日本だったら立ち上がれると信じている。

Q. 今後の夢
まず、私生活においては家族と平穏な日々を過ごしていくこと(15歳の息子さんと18歳の娘さんがいるそう♪)
ブラインドサッカーにおいて実現したい夢は、ブラインドサッカーを通じて皆が視覚障がい者を社会の仲間だと当たり前に受け入れる社会を作ること。また、FIFAと対等な規模のブラインドサッカーの国際的な組織を作り、さらにブラインドサッカーを発展させたい。



GO FOR LONDON !! ~アジア選手権を戦う日の丸戦士~

第一弾 ~鼓原滋男~
(選手・乃木坂ナイツ代表)



この年齢で日本代表を目指し、世界に挑戦できること、私を産み育ててくれた両親、家族、叱咤激励し鍛えてくれた多くの出会った方々に本当に感謝です。
毎回毎回これが自分にとっての最後のチャレンジと考えると、すべてを出し切ることを心がけてきました。
パラリンピックに過去4回出場。自分の人生に大きな影響を与えてくれたあの舞台上に、もう1度立ちたい。夢を追いかけたみんなと一緒に、もう一度立ちたいのです。
自分にとって、たぶん、きっと、本当に最後のチャンス。何としてもパラリンピックの枠を勝ち取り、その夢の舞台に近づきたいと思っています。
そして、乃木坂ナイツというチームを立ち上げる機会をいただき、一緒に練習し支えてくれている仲間のためにも、希望の光ある限り、道を切り開き、我武者羅にゴールを目指して進んでいきたいと考えています
前に倒れるくらい、ガンガン背中を押ししてほしいと思います。よろしくお願ひします。



田中のこぼれ話

代表合宿は僕にとって初めてこの目でブラサカ日本代表を見た瞬間でした。僕も一対一やドリブルなど、どっぷりと練習に参加させてもらいました。代表合宿を見て一番感じたことは「もっと早くブラサカを生で見たかった...」という事です。サッカーを始めた少年たちは誰もサッカー選手になりたいという夢を持つものです。僕もそうでした。ただ、みんな途中で限界を感じあきらめてしまう。「趣味程度に楽しめばいいや」というのもありでしょう。ただ、ブラサカ選手が一つのボールを追いかけ激しいプレーを見せていると「自分はある。なにサッカーに必死に向き合っていたらどうか、サッカーができる喜びを感じていたらどうか」と自問自答しました。だから、晴眼者がブラサカと出会える。場づくり、特に少年たちにはブラサカを見て何か感じてもらえることは本当に大切なことだと改めて感じました。

カンボスさんとは??

BSA(国際視覚障害スポーツ連盟)のブラインドサッカー部門のトップの方です。昔は、フットサル選手として、イタリヤなどでプレーしていたそうです。フットサルの元日本代表監督ザツボさんと仲が良いらしいです。

カンボスさんはとても気さくな方で、僕の勝手な「偉い人=怖い人」という想像はまったく的外れなものになりました。今回、聞かせて頂いたお話の中で、印象的だったことは、最終的な夢が「FIFAと対等な規模のブラサカ国際組織を作ること」と言っていた箇所です。真剣に夢や目標を語るカンボスさんからは、実現に対する熱意やそれに対する確信すらも感じることができました。これからも更なるブラサカの発展を引っぱり続けてください。
最後になりましたが、今回インタビューに協力して下さった陰山さん本当にありがとうございました。(渡邊)(教原)



次回イベント

- ・6/25 (土) 11:00~14:00 @神奈川大学
インテニテという学生団体が企画したもので、B2/3(弱視クラス)とMIXフットサル、B1(全盲クラス)のエキシビジョンマッチ、体験会などが予定されています。当日見学は自由とのことなので、よろしければ見に来てください。
- ・7/16~18 日本代表合宿 @八王子
アジア選手権に臨む B1 クラス代表合宿が行われます。会場は西八王子駅のクーバーフットサルパーク富士森公園で行います。ぜひご参加を!!
- ・7/17 (日) チャリティフットサル大会
上記の日本代表合宿に併催されるフットサル大会です。体験会・フットサルPK付き。是非ご参加を!!